

緑の担い手

「緑の雇用」研修 を受講して

有限会社 佐川運送
鈴木裕太

「緑の雇用」研修では、いろいろな人の話を聞き、いろいろな現場へ行き、基本的な事を学び、危険な事、してはいけない事などを教わりました。

研修を受講して、林業という職業は、木を伐採するだけでなく、木を植える植林や下刈りなどの様々な工程を経て、自然を守りながらも新たな森林を造り育て、長い間管理をしていく必要がある、難しく、奥深く、そして重要な仕事だと思いました。

現場での研修では、実際に木の伐倒を行いました。伐倒作業は、周囲の安全確認、伐倒方向の決め方、受口や追口の作り方、退避の仕方など、どれ一つを取っても重要で、これらを正しく行わなければ、大きな危険が伴うことを教わりました。

今後は、研修で教わった基本事項をしっかりとし、事故なく安全に作業に取り組みたいと思いました。また、自分の職場の後輩にも、研修で教わったことを伝え、

怪我だけはしない、させないよう
にしていきたいです。

実際の現場では、細い木もあれば太い木もあり、状況は様々なので、1本1本周りを確認し、安全に伐倒するようにしています。

また、機械に乗って作業をしてみると、作業道が狭くて作業をしにくい場所があったり、前日に降った雨の影響で、地面が滑りやすくなっていたりして、危険だなと感じた時には、いつも以上に慎重に作業をするように心がけています。

まだまだわからない事が沢山あるので、職場の先輩方の指導を受けたり、研修で教わったことを思い出したりしながら、この林業という仕事を頑張っていきたいと思っています。

